

週間市場レポート (2022年8月1日~8月5日)

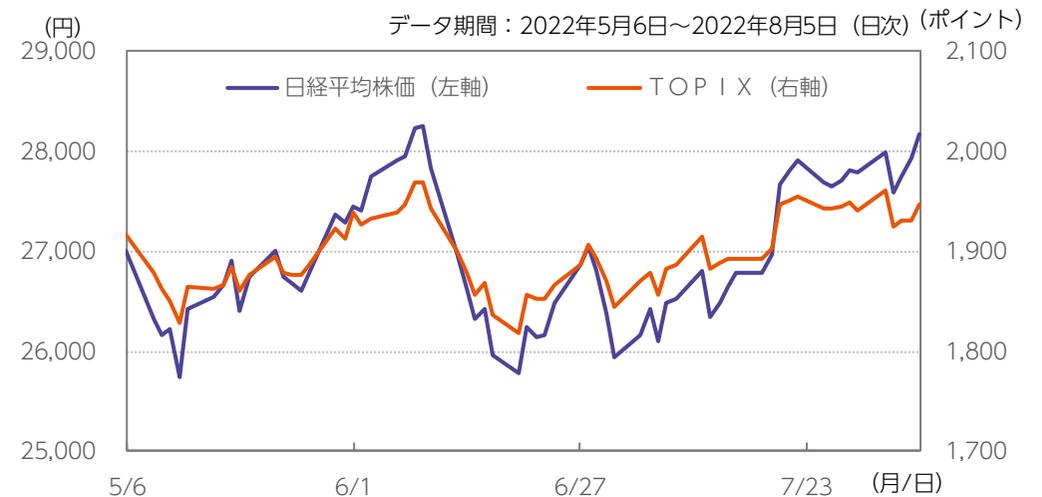
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/7/29	先週末 2022/8/5	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,801.64	28,175.87	1.35 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,940.31	1,947.17	0.35 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		32,845.13	32,803.47	▲0.13 ↘
S&P500種指数		4,130.29	4,145.19	0.36 ↗
ナスダック総合指数		12,390.69	12,657.55	2.15 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,708.10	3,725.39	0.47 ↗
S&P/ASX300指数		6,933.18	7,005.76	1.05 ↗
上海総合指数		3,253.24	3,227.03	▲0.81 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)*		822.60	829.98	0.90 ↗
東証REIT指数		2,021.99	2,022.18	0.01 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		845.91	831.71	▲1.68 ↘
ASX300 REIT 指数		1,484.20	1,471.60	▲0.85 ↘
グローバルREIT (除く日本)*		197.39	193.69	▲1.88 ↘
日本10年国債 (%)		0.185	0.168	▲0.017 ↘
米国10年国債 (%)		2.649	2.827	0.178 ↗
ドイツ10年国債 (%)		0.817	0.955	0.138 ↗
英国10年国債 (%)		1.864	2.049	0.185 ↗
ドル/円		133.27	135.01	1.31 ↗
ユーロ/円		136.16	137.51	0.99 ↗
英ポンド/円		162.20	163.01	0.50 ↗
豪ドル/円		93.12	93.35	0.25 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,967.14	3,053.39	2.91 ↗
WTI原油先物 (ドル)		98.62	89.01	▲9.74 ↘
CRB指数		292.06	281.04	▲3.77 ↘

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。前週の米国株式市場が上昇したこと、直近の好決算銘柄や、決算発表を控える銘柄に先回りした買いが広がったことから、週初はおよそ2ヵ月ぶりの高値を付けました。ペロシ米下院議長が台湾を訪問すると伝わると、米中の対立激化が懸念され、下落する場面もあったものの、円安の進行や米国株式市場で半導体関連銘柄が上昇した流れを受け、週末まで上昇しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

《 債券 》

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。
米連邦準備制度理事会（FRB）による急速な金融引き締めにもなう米国の景気減速懸念や、FRB高官の相次ぐ利上げに積極的な発言を受け、国内金利は、一進一退の展開となりました。週末は、欧米の中央銀行による金融引き締めで、世界景気が減速するとの懸念から低下し、およそ5カ月ぶりの低水準で取引を終えました。



3) 米国の株式市場

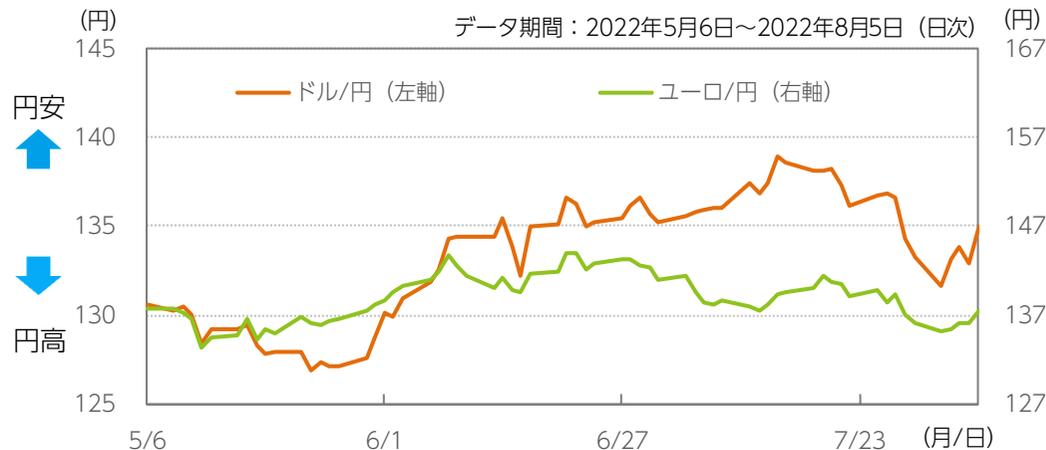
《 株式 》

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で横ばいとなりました。
ペロシ米下院議長が台湾を訪問する見通しであると伝わり、反対姿勢を示す中国と米国の対立激化が懸念され、週前半は下落しました。その後は、堅調な経済指標を受け米景気の底堅さが確認されると大幅上昇し、週末も、7月の米雇用統計を受け、足元で高まっていた景気減速懸念がやや和らいだことから、小幅に上昇したものの、週間では前週末比で横ばいとなりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
FRBの急速な金融引き締めによる米景気の減速懸念や、利上げをめぐるFRB高官の発言を受け、一進一退の展開となりました。7月の米雇用統計の発表を控え、持ち高調整目的の円買い・米ドル売りがやや優勢となる場面もあったものの、米雇用統計の改善を受け、FRBが積極的な利上げを継続するとの観測が強まると、週末は円売り米ドル買いが加速しました。



5) 今週の見通しについて

先週の国内株式市場は、主要企業の決算発表も佳境を迎えるなか、業績や業績見通しを材料に上昇しました。一方、米国株式市場は、FRBの利上げペースをめぐり、一進一退となりました。

5日（金）に発表された7月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数は前月比+52.8万人と大幅に増加しました。失業率も3.5%と前月から低下し、新型コロナウイルスの感染拡大が本格化する2020年2月の水準まで改善しました。FRB高官は、労働市場は依然堅調との見方を示すとともに、利上げの必要性を強調しています。市場は、経済データを注視しながら、9月以降の会合での利上げ幅や、今後の利上げ休止のタイミングを見極めていくこととなりそうです。

7月の米雇用統計で労働市場の堅調さが示されたことから、今週の株式市場も、経済データを確認しながら、米国の今後の利上げペースをめぐり、上下に振れやすい展開が予想されます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>